



刻歩極頂

長井市立西根小学校
学校だより第9号
令和4年9月9日

「刻歩極頂」(こくほきょくちょう) 一步一步の歩みを大切に 頂上にたどり着く
長井市初代名誉市民 孫田 秀春 博士 揮毫

西根小学校大運動会に向かって

9月17日(土)に開催される西根小学校大運動会に向かって、子供たちが生き生きと取り組んでいます。一昨日は、運動会結団式(写真)。今年のスローガンは、「全力 気力 団結 ～互いに輝く運動会～」。

一つ一つの言葉の意味を深く考えて作成し、本部係のみなさんが結団式で発表しました。そして、団旗授与、各係リーダー紹介、組頭あいさつ、エール交換。引き締まったいい結団式になりました。また、徒競走、団体種目、応援等の練習への主体的な取り組みを大切にしています。

残念ながら今年もご来賓の皆様にはご案内できない状況ではありますが、子供たちを地域の中で見守り、励ましていただければ幸いです。



令和4年度 運動会児童係活動名簿 ◎：係長 ○：副係長

赤組	組頭	
	副組頭	
	応援団長	
	副応援団長	
	応援団員	
	本部係	
	会場係	
白組	組頭	
	副組頭	
	応援団長	
	副応援団長	
	応援団員	
	本部係	
	会場係	
	装飾係	
	装飾係	

2学期学級委員よろしくお願ひします

8月31日(水)の全校集会で、2学期学級委員を任命しました。「ありがとうございます」など一言添えて、しっかりと任命書を受け取ることができました。みんなと力を合わせながら、存分に力を発揮してほしいと思います。

第2学期 学級委員		
第3学年		
第4学年		
第5学年		
第6学年		

学校運営協議会でいただいたご意見から

8月31日(水)、第2回学校運営協議会(兼)第2回地域教育協議会が西根小学校会議室で行われ、たいへん貴重なご意見をいただきました。誠にありがとうございました。ご紹介いたします。

- 先生と子供一人一人の面談を行ったのは、たいへんよかったのではないかと。
 - 子供たちが正直な気持ちを出してくることが多く、職員で共有し、共通して認識できることにつながった。
- 地域でできることがあれば、遠慮なく言ってほしい。
 - コミセン、PTAにより、地区文化祭の時に「フリーマーケット」開催を考えておられ、たいへんありがたい。
- 今年も、特別支援が必要な児童など、人数をお聞きしてびっくりした。私たちの子供の頃もそういう子はいた。医学が発達すると、積極的に探しているように思えて、親には重いのではないかと。
 - 全て一律の中でなく、その子に合った学習のやり方を見つけることが大切。専門家チームの指導や担任の情報をもとに指導法を探していく。一人一人を大切にしたい指導を進めていきたい。
- 放課後子供教室など、感染症の問題もあるが、できるだけやりたいと思っている。子供たちに名前を覚えてもらって、「地域の〇〇さんに面倒になったなあ」と思っている。大人になったら地域で役立ちたいと思う子供を育てたい。
 - 学校内、地域内での縦の人間関係を大切にしていきたい。西根の子供は、人懐こい。それを生かして育てていきたい。
- 年3回のこの会議の進め方について。学校から要望を出してもらい、学校の中に入っていき人を見つける。そういうことが大切なのではないか。学校がしなくてもいい仕事を地域にお願いし、それによって子供と向き合う時間の確保や教員採用試験の倍率の増加にもつながるのではないかと。
 - これまでもご協力いただきありがとうございます。今後、さらにご協力いただけるよう、会の進め方を精査していく必要がある。
 - 4年生の縄文太鼓の学習にあたって、「縄文まつり」の宣伝を長井市内に広げたい。例えば、おらんだラジオ、フラワー長井線の吊り広告など、子供たちが参画する活動を仕組んでいきたい。また、今年は学習発表会と地区文化祭を合わせ、コラボさせたいと考えている。フリーマーケットにより子供たちには、SDGsの視点を持たせて。それが子供たちにも地域のためにもつながる。
- 地域の中で、地域住民が主体となって取り組むのが地域教育協議会だと思う。ただ、その旗振り役を設けることが必要だと思う。また、学校運営協議会の会議の持ち方が学校評議員会と変わっていない。地域教育協議会とも進め方がちがうと思われる。
 - 会の持ち方を精査していく必要がある。